

うきは市生まれ！大輪のユリ「オリエンタル」



こんにちは、オフィスメントアーの山口みどりです。今回は、いにしえの時代から親しまれてきた「ユリ」を訪ねて、うきは市へ行ってきました。福岡県ではユリの生産も盛んで、なかでも「うきは市地区」は有数の産地です。「古事記」や「万葉集」に記述があるように、古くから親しみのある花の一つとされています。世界的にも歴史が古く、古代エジプトでは豊穡の象徴とされ、中世以降では真っ白なユリは聖母マリア様を象徴する花として、たくさんの宗教画に描かれ、キリスト教では特別な花となっています。「ユリ」の語源は、細い茎の割に花弁が大きく風にそよそよと揺れている『揺り』、また、球根の片鱗が寄り添っているから、『寄り』が「ユリ」になったとか。ユリの花は世界中に約100種類以上あり、北半球のアジアからヨーロッパ、北アメリカ～熱帯地方など広く分布しています。形状や大きさも様々でユリは世界中でも親しまれる花です。観賞用の花としてだけでなく、「食用」「薬用」としても重宝されていますね。ユリは多くの種類があります。今回は「オリエンタルユリ」をご紹介します。

うきは市でオリエンタルユリを栽培する柳さんのハウスへ

約2800坪の柳さんのハウスでは、1年中ユリの栽培が行われています。



ハウスのオーナー 柳壽幸（やなぎ ひさゆき）さん



柳さんは、サラリーマン生活を退職後、ご実家の花農家を継がれました。お父様は、フリージアや小菊などを栽培されていたそうです。



土壌整備されたハウス

ユリは球根から育ちます。花を切った後、土の中の球根はすべて掘り起こし、廃棄されます。消毒を済ませ、球根の植え付けが始まります。次回は8月ごろです。

【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メントアー代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月～2018年9月まで掲載』



ハウスの中

ご覧の通り、オリエンタルユリは背丈長く華やかで、花が大きいのが特徴。香りは強くなく優しい甘い香りです。ハウスの中のオリエンタルユリは、固い蕾の状態。ほんの少し、蕾の先が色づくとも花色は分かります。柳さんのハウスでは、ピンク系(数種)赤、黄色、白色のオリエンタルユリが栽培され、年間20万本も出荷されているそうです!



柳さんのオリエンタルユリの球根は、「オランダ」をはじめ、「ニュージーランド」や「チリ」から購入しているそうです。そもそも、洋花のイメージが強いオリエンタルユリですが、もともとのルーツは日本のユリだったとか。「オランダ」で、交配され品質改良を繰り返し、今の形になっていったそうです。球根を植え付けて、花が開くためには温度調節も大切。季節・温度により、上向き横向き...など、花の向きが変わってくるそうです。ユリの花は花粉がつくので敬遠されがちですが、なんと改良が続き「花粉がつかないシベ」を持つユリも出てきているそうです。これはとても好ましいですね!



【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メンター代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月～2018年9月まで掲載』



OFFICE Mentor

作業場では



奥様をはじめ、スタッフは全員で7名。毎朝、4時~4時30分には起きて、日が昇る5時くらいには作業を開始するそうです。頭が下がりますね～。ご苦労様です!



種類別に束ねられ、出荷待ちです。作業場で別のカワイイお花を見つけましたよ。「クルクマ」です!! 同じ球根植物。柳さんはクルクマも栽培し、出荷しておられました。



柳さんから、オリエンタルユリや花に対する熱い想いをしっかりと伺ってきました。1日中...いえいえ、1年中、常に花の事を考えておられます。たまに、遠方に出張する一瞬だけ、手が届かないから、頭から離れてほっとできるとか。

ステキな奥様ともお会いしました。「暑いでしょう。ありがとうございますね。」と、いろいろとお気遣いをして頂きました。花農家さんだけでなく、農家さんは家族で仕事をしているケースが多いのですが、家族や稼業も支える奥様の存在は大きな力です。これからも華やかで優雅なユリを私たちに届けてください。柳さん、奥様ありがとうございました!

オリエンタルユリの顔

ハウスでは固い蕾の状態でしたので、開いた顔を見てください。



ピンク系の数種



ピュアホワイト



珍しい八重咲きのオリエンタルユリです。このタイプは初めて見ました。花の大きさも様々あり、とてもエレガントでうっとりします。他のユリと少し違う、ほんのり甘く優しい香りです!.....

【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メンター代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月~2018年9月まで掲載』



OFFICE Mentor

飾り方



ユリの花は中心にシベがあり、花粉が付きやすいので敬遠されがちです。花びらに花粉がつかないように、実の花のように花粉を取り除いてください。除いた方が、花持ちも良いそうです。花粉は花びらの数だけついています。花が少し開いた状態の時にティッシュやハサミで摘まんで取り除いてください。先に書きましたが、「花粉がつかないシペを持ったユリ」が今後はもっと出回ってくると思います。

もし洋服に花粉が付いてしまったら！

慌ててティッシュや布巾などで拭かないでくださいね。花粉は油分を含んでいます。ガムテープやセロテープで軽くたたくとおおよそ取れますよ。



オリエンタルユリは大振りな花が特徴で花の丈も長い。そして、とても花持ちが良いのです。だいたい、6輪くらい花がついていて下の方から咲き始めますので、上の方はまだ蕾の状態でお花屋さん並んでいます。1本購入すると、全て咲くまで2週間くらいは持ちます。(水替えや切り戻しをしてくださいね!)少々お高い気がしますが、アロマ効果もあり華やかですし、花持ちも良いので、お得ですよ。花を切り分けて飾ることもできます。



(上のユリ)1本使ったいけ花

お花は下の方が大きいので、華やかさを出すために、1番下のお花を残し長い茎のまま花瓶にいけています。1輪でも存在感は充分です！お花が大きいとくるくる回り、いけにくいので、プラスチックの石を入れて花留めにしました。



花瓶は長めで重みがあるものが良いでしょう。水に浸かる部分の葉は全部切り落としてくださいね。

【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メンター代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月～2018年9月まで掲載』



OFFICE Mentor

下から開いた2輪目と3輪目を使いました

タニワタリの葉を花器に合わせていけてみました。ヒペリカムを添えています。



上から3輪

葉が大きいのでカットして使うと使いやすいです。



2輪を使ったいけ花



1番上のお花はすっと伸びていて、凛としたイメージです。

1輪挿しにそのまま飾りました。

八重咲きのオリエンタルユリをいけてみま



◆花材
アリアム
アレカヤシの葉
カスミソウ
クルクマ
アスター
ヒペリカム

クルクマもアレンジしてみました。



花束のイメージで



籠のアレンジ



クルクマのエキゾチックは表情を生かして～

「雨が降ると気持ち沈んでしまう....」それは、太陽の陽ざしが少ない梅雨時にはよくある症状です。気圧の変化に体に対応できず、自律神経が乱れ、気持ちも内向きになり、体を動かすのもおっくになってしまいます。血流も悪くなり、むくみやすくなります。そんな時は、部屋の中で足踏み体操だけでも行ってください。その際は熱中症には気を付けて下さいね。

思い切って気分転換してみることをお勧めします!ぐっすり眠れる環境をつくりましょう。断捨離や模様替えも良いでしょう。気持ちが優れないとき私は、フラワーセラピー効果を使い、白色のお花やグリーンを飾ります。気持ちもリフレッシュできますよ。

【福岡の花を知る】

*花コラム記事・いけばな作品：オフィス メンター代表 山口みどり *企画・ハウス撮影：福岡県花卉園芸農業協同組合・福岡花市場担当 古藤茂氏
『リビング福岡・北九州 ウェブサイトより 2017年10月～2018年9月まで掲載』

